

# 台湾大都市の都市緑地に関する研究 ( I )

## — 高雄市の緑地の現況と緑地政策の概要 —

九州大学農学部 陳 元陽・薛 孝夫  
 次木 達郎

### 1. はじめに

人口が集中した都市の生活環境の快適化の条件として緑地の存在を欠くことはできない。台湾においては近年まで経済発展を優先させてきたため、都市緑地の整備が十分には行なわれてこなかった。都市緑地の保全や利用について台湾と日本とを比較検討し、台湾の今後の都市緑地政策について提言することを目指して、台湾南部にある高雄市を事例として研究を進めている。

今回は、高雄市の緑地の現状と緑地行政の概要について報告する。

### 2. 高雄市の概要

高雄市は、台湾の西南部にある港湾都市で、総面積はおよそ154k<sup>2</sup>m<sup>2</sup>で、福岡市のおよそ2分の1に当たる。高雄市の人口は約140万人で、およそ台湾人口の7%、人口密度はおよそ9,000人/k<sup>2</sup>m<sup>2</sup>である。

1908年、日本の統治下にあった高雄市当局が都市計画を公布して、都市の原型ができた。そして、60年代から70年代にかけて高雄港は農産品の輸出にかわって工業製品の輸出を盛んに行ない、大幅な成長をした。現在、高雄市は台湾で第2の大都市であり、最大の工業都市でもある。1975年、高雄市の人口は百万人を越えたが、同じ年に福岡市も百万人を越えている。

### 3. 高雄市の公園緑地の概要

高雄市では1979年に行政組織の大きな改革があり、公園緑地に関する統計資料を作り始めたのは1978年以降のことである。1991年現在で、高雄市の公園数は42ヶ所、緑地は78ヶ所で、合計約215haとなっている。高雄市に現在ある公園の大部分(64%)は、1978年以前に完成したものである。

図-1は、1978年以降の高雄市の人口と公園緑地面積の変化を示している。高雄市では人口の増加に対して公園緑地の建設は遅れ気味で、この14年間に1人当たりの公園緑地面積は1m<sup>2</sup>から1.5m<sup>2</sup>へと0.5m<sup>2</sup>増加した

に留まる(図-2)。福岡市について同じ時期の統計をとってみると、人口も公園緑地面積も安定して伸び(図-3)、1人当たりの公園緑地面積はこの間に3.8m<sup>2</sup>から7.3m<sup>2</sup>に3.5m<sup>2</sup>増加した(図-4)。

この14年間に人口の伸びは高雄市の方が大きく、公園緑地面積の伸びは福岡市の方が大きいため、1人当たりの公園緑地面積の差は開く一方である(図-5)。

主な都市の、市民1人当たりの公園緑地面積は図-6のとおりで、台湾最大の2つの都市の緑地は他の大都市と比べて著しく不足しているといえる。

### 4. 台湾の公園緑地政策

台湾では公園緑地に関連する法律の整備は、日本と比べて非常に遅れている。中華民国の法律は都市計画法と公路法の2法で、この他に各市が作っている公園管理法がある。

都市計画法の第42条には、「都市計画地域の中には、道路、公園、緑地、広場、児童公園、駐車場などの公共施設が必要である」と規定されている。また、第45条には、「公園、緑地、広場、児童公園の面積は都市計画総面積の10%以下であってはならない」とうたわれている。公路法は日本の道路法に当たるもので、1984年改正された公路法の第32条には、道路の両側を適切に緑化する事が義務づけられている。

台湾では日本の都市公園法のような法律がないため、各市が日本の条例に相当する公園管理法をつくっているが、その内容は各都市によってまちまちであり、公園緑地の建設の進め方は都市によって違っている。

### 5. 高雄市の公園緑地政策の課題

高雄市の公園緑地面積は都市計画面積の1.4%であり、法律の基準を満足していない。都市緑地の確保に努めているが、①人口密度が高く公園緑地の用地の確保が困難であること、②都市計画が不備であったために無秩序な開発が進んでしまっていること、③公園建設に台湾政府の補助がないため予算が十分でないこと、

④高雄市の行政区域の中に軍事用地が多く市の権力が十分でないこと、などが障害となって大規模な公園や緑地の建設は困難な状態である。

このような状況の中で、1991年に高雄市が出した緑地計画の方針は以下のようなものである。

①郊外の新しい市区を開発する場合は十分に緑地を留保すること。

②旧市中心には積極的に街路樹を植えること。

③ビルの屋上と住宅のベランダを緑化すること。

すなわち、大規模な公園緑地の建設が困難な都市部では、屋上やベランダなどの点的な緑地と、線としての並木道の整備を進め、郊外の新規の大規模開発では

面的な緑地を確保していこうという政策である。

## 6. おわりに

福岡市と高雄市は、海に面して優良な港があること、地方の中心都市で産業や人口が集中していること、人口規模が似るなどの共通性がある。しかし、国の緑地政策の差異や市の人口密度の違いなどから、高雄市の公園緑地の整備状況は福岡市と比べて大きく立ち後れている。

今後、緑地の質の問題や、市民の緑地に対する要望などを調査して、都市緑地行政や都市緑化の技術に反映させていきたい。

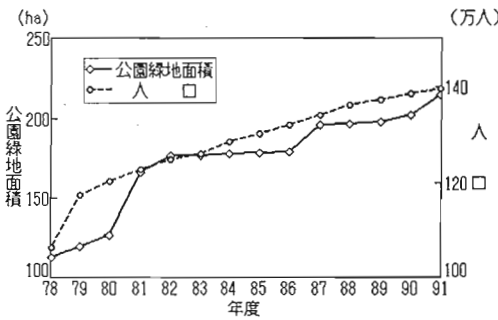


図-1 高雄市の人口と公園緑地面積の変化

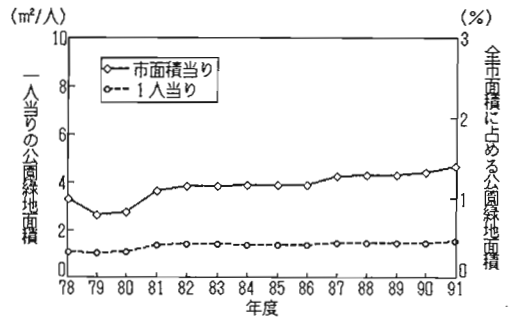


図-2 高雄市の公園緑地整備率の変化

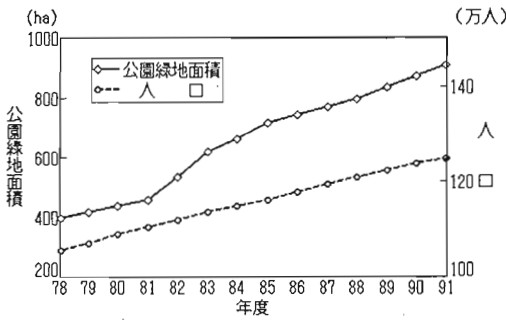


図-3 福岡市の人口と公園緑地面積の変化

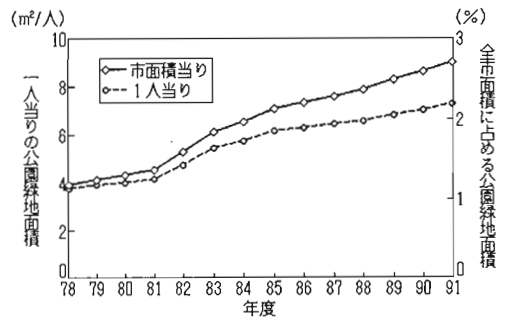


図-4 福岡市の公園緑地整備率の変化

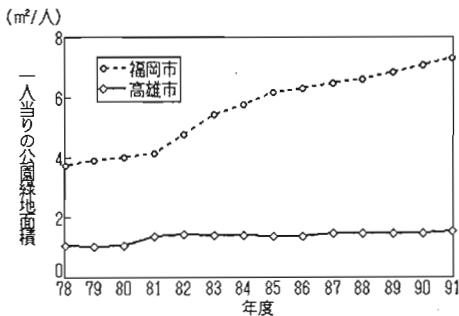


図-5 1人当たりの公園緑地面積の伸びの比較

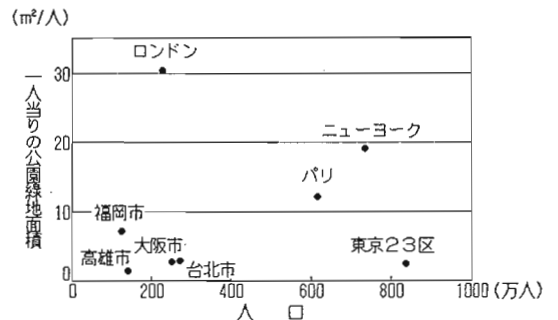


図-6 主要都市の人口と1人当たり公園緑地面積